

クリーニング総合研究所には、衣料害虫による食害事故の鑑定が季節を問わず送られてきます。衣料害虫の食害によるトラブルを回避するには、品物を返却する際の情報提供が有効な手段になります。

今回は、クリーニングによって衣料害虫による食害が明瞭になつた可能性がある事例を紹介します。

## 衣類の状態

クリーニングに出す前にはなかつた、生地がえぐれたようなキズができるで戻ってきたと、お客様から持ち込まれたもの。

毛羽の一部が消失し、織組織が露出した状態になつていて、

淨により脱落した可能性も推測される。

原因が衣料害虫による食害であることは、織維に特有の形状が残っていることから判断できる（顕微鏡写真）。

なお、食害には毛羽のみが食害されて消失するものや、穴あき、キズ状になるものなど様々な形状がある。

## 原因

衣料害虫による食害を受けたも。洗浄前の検品では特に目立つ異常は認められなかつたとのことで、食害を受けていた毛羽が洗

## 事故の防止対策

利用者が衣類を長期保管する際、防虫剤等を適切に使用することが

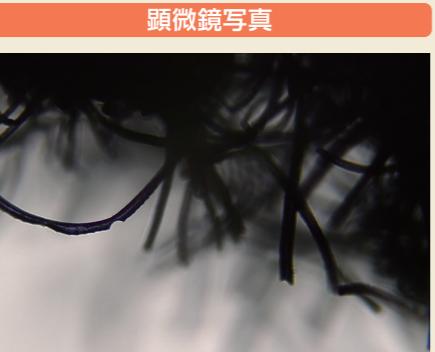
## 衣料害虫

原因が食害と分かっても、食害を受けた時期や場所を特定することはできない。

クリーニング前に受けた食害が洗浄後に明瞭になる場合もあるため、事故がクリーニングによるものと利用者から誤認されないように対処することが必要で、「受付時および返却時に異常がないことを相互に確認する」、「処理中に異常を確認した場合には速やかに利用者に報告し、必要な対応をとる」などの重要性は常に指摘されるところである。

衣料害虫による食害は恒常的に発生しているため、利用者に食害を受けやすい衣類や時期などについて注意喚起をすることも有効な対策になる。

衣料害虫による食害は恒常的に発生しているため、利用者に食害を受けやすい衣類や時期などについて注意喚起をすることも有効な対策になる。



衣料害虫の食害に特有の形状が確認できる



毛羽が消失し、キズのようになっている



●「衣料管理情報」は全ク連ホームページからPDFをダウンロードいただけます。  
全ク連HP <https://www.zenkuren.or.jp>  
「お知らせ」→「衣料管理情報」



後身頃中央付近がキズになった起毛コート

監修／クリーニング総合研究所

着用・保管  
取り扱いに注意